

# 細菌とウイルスとの違いに対する理解度

— 教育学部学生を対象とした調査の結果 —

井頭 均

IGASHIRA Hitoshi

関西学院大学

【キーワード】 細菌、ウイルス

## 1 目的

近年、遺伝子組み換え食品の出現や遺伝子治療技術の開発、鳥インフルエンザの流行、あるいはコンピュータ関連などで、ウイルスという言葉をよく耳にするようになった。しかし、最近の大学生の中には「細菌とウイルスが伝染病を引き起こす原因となることは知っているが、両者の違いについてはよく分からない」と答える者が少なくない。

そこで筆者は、本学教育学部の1年生を対象に、細菌とウイルスの違いをどの程度理解しているのかについて調べてみた。

## 2 方法

(1) 調査方法：生物学の授業のなかで、細菌とウイルスの形態や生活様式などに関する20個の質問の書いた用紙を配布し、約30分で回答してもらった。

(2) 対象：聖和大学1年生81名（そのうち有効回答数76名）。

(3) 調査日時：2008年9月30日

## 3 結果

(1) 表1. 高校で生物学を履修した割合

	%
履修した	82
しない	18

(2) 表2. ウイルスについて学んだ記憶ある

	%
学習した	82
しない	18
分からない	5

(3) 細胞構造をしていない

	%
細菌	14
ウイルス	49

(4) 他の生きた細胞の中でのみ増殖可能

	%
細菌	29
ウイルス	52

(5) 主に遺伝物質と蛋白質の殻でできている

	%
細菌	38
ウイルス	20

(6) 結晶化が可能なものもある

	%
細菌	34
ウイルス	26

(7) 結核やペストの原因

	%
細菌	30
ウイルス	63

(8) インフルエンザの原因

	%
細菌	5
ウイルス	96

(9) 小さいほうはどちら？

	%
細菌	31
ウイルス	46
分からない	23

## 4. 考察

彼らは細菌もウイルスも微生物の仲間、伝染病を引き起こすものがある程度の認識しかなく、両者の違いを明確に理解、認識している者は極めて少ないといえる。